

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																		
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~3日	9月 ~10日	9月 ~17日
カンピロバクター	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	75	49	7	8	4
病原性大腸菌	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	102	56	15	16	11
腸管出血性大腸菌	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	1	0	0	0
サルモネラ	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	25	6	5	1 (1)	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	12	15	4	4	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	11	11	3	0 (1)	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	8	2	0	0	1*
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	1	0
ノロウイルス	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*その他は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第37週(9月11日~9月17日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8			1		3	1	3
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	5	日本紅斑熱	3			2			1	
		レジオネラ症	2			1		1		
五類	9	アメーバ赤痢	1	1						
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1						1	
		急性弛緩性麻痺	1				1			
		後天性免疫不全症候群	2					2		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	3		1			2		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり12.06人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、多い状況が続いています。また、高齢者施設や学校等での集団発生の報告が続いており、注意が必要です。手洗い、こまめな換気、医療機関受診時等の効果的な場面でのマスク着用など、基本的な感染対策を徹底しましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり2.19人の報告がありました。前週と比べて増加しており、例年同時期より多い状況が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が3件報告されています。手洗い、咳エチケットの励行、換気などの感染予防対策を心がけましょう。

3 手足口病

定点当たり3.04人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、多い状況が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理などの感染予防対策を心がけましょう。

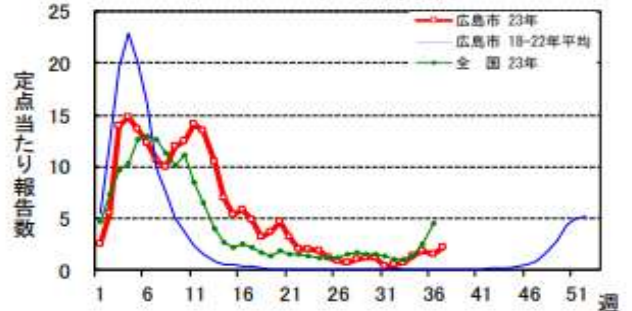
4 後天性免疫不全症候群

2件の報告があり、今年の累計は8件になりました。感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、早期発見、早期治療、パートナーへの感染防止のため、検査を受けましょう。

【参考】HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>



インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
												↑	↓	
インフル	インフルエンザ	79	2.19	0.10	◇	小児科	ヘルパンギーナ	27	1.13	0.78	◇	↑	↓	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減
	新型コロナ(COVID-19)	434	12.06		◇		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.09				
小児科	RSウイルス感染症	8	0.33	1.32		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		↔	↔	前週と比較しておおむね ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	7	0.29	0.20			流行性角結膜炎	5	0.63	0.75				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.21	0.79	◇		細菌性髄膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	56	2.33	3.12	◇	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	1	0.04	0.16			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.03				
	手足口病	73	3.04	1.23	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.09			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				
	突発性発しん	6	0.25	0.57										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	96	20歳代、70歳代、80歳代
4	レジオネラ症	1	27	90歳代
5	後天性免疫不全症候群	2	8	40歳代・感染者、50歳代・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	13	40歳代
5	梅毒	2	209	20歳代、50歳代